

「ヨセフの苦悩と決断」

(竿代 照夫 牧師)

【聖書のみことば】 マタイ1章18-25節

- 18 イエス・キリストの誕生は次のようであった。その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった。
- 19 夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。
- 20 彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れないうであなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。
- 21 マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」
- 22 このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。
- 23 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)
- 24 ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れ、
- 25 そして、子どもが生まれるまで彼女を知ることがなく、その子どもの名をイエスとつけた。